

授業科目名	博物館情報メディア
科目番号	0ATW15F
単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 月7,8
担当教員	白井 哲哉, 永井 正勝, 寺地 美奈子, LEE KANG
授業概要	博物館はメディアである、博物館が提供するのは情報であり、テレビに似ている(梅棹1987)と唱えられて以後、インターネットの普及に伴い、メディアとしての博物館は急速に発展しつつある。リアルな博物館とヴァーチャルな博物館の双方において、情報メディアに関する知識と理解が強く求められている。本講義は、インターネット展開における映像リテラシーの重要性を鑑みつつ、博物館と情報メディアに関し、その現状と展望について、さまざまな観点から考察する。
備考	東京キャンパス開講;毎年日本語で授業;図書館情報学専門科目 0ATW156と重複履修不可。 01MB50Bと同一。 オンライン(オンデマンド型)
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	意味的研究力 メディア専門知識 リソース専門知識
授業の到達目標(学修成果)	博物館情報学の観点から博物館資料の管理・保存・利活用を教授し、情報メディアとしての博物館の機能や役割に関する理解を深める。特に映像メディアの取り扱いやアーカイブの実践を論じる。
授業計画	(1)博物館の役割と使命 (2)博物館資料のドキュメンテーション:資料の特性、情報記述の標準化 (3)博物館資料の利活用:権利関係、デジタルコレクション (4)実物資料の保存と修復 (5)資料の保存科学 (1) (6)資料の保存科学 (2) (7)モノからコンテンツへメディア技術史の観点から (8)映像メディアの保存 (9)映像メディアの利活用ーデジタルアーカイブとweb配信 (10)博物館情報メディアとMLA連携
履修条件	
成績評価方法	到達目標に示された項目に基づいた課題により、以下のように評価をおこなう。授業内容に対する理解度の観点から評価する。 各回の講義の最後に課題を課す 毎回の課題レポート100% 全回のレポート10点として100点満点とし、総合点60点以上を合格とする。 課題の回答は、コンピテンスで挙げた「意味的研究力」を得ているか験す機会であると同時に、この課題を考えていくことでその力が向上すると考えられる。よって、たとえ中身が良くても授業内容への論及がほとんどないものは零点か低い点数に留まるし、逆に授業内容を120%理解したレポートであっても、それへの広い意味での批判あるいは発展のないものも、同様である。 フィードバックについては講評等をmanabaにて行う。
授業外における学修方法	指定した教科書・参考文献の該当箇所を事前に読んでおくこと、また、関連するサイトを参照しておくこと。授業外の学修は各回の課題レポートへの取り組みで確認する。

教材・参考文献・配付資料等	講義資料（スライド）はmanabaのコースコンテンツで配布します。 ・水嶋英治，田窪直規（編著），田良島哲，宮瀧交二，毛塚万里（著）『ミュージアムの情報資源と目録・カタログ』（博物館情報学シリーズ1）樹村房，2017 ・水谷長志（編著）『ミュージアム・ライブラリとミュージアム・アーカイブズ』（博物館情報学シリーズ8）樹村房，2023 ・柳与志夫『デジタルアーカイブの理論と政策』勁草書房，2020 ・飯田豊編『メディア技術史——デジタル社会の系譜と行方』北樹出版，2013 ・原田健一・石井仁志編『懐かしさは未来とともにやってくる——地域映像アーカイブの理論と実際』学文社，2013
オフィスアワー等(連絡先含む)	白井 哲哉 水2限 7D407 tetsushi at slis.tsukuba.ac.jp 永井 正勝 金曜2限 7D209 mnagai (at) slis.tsukuba.ac.jp 寺地 美奈子 火曜5限、木曜5限 7D307 minakota at slis.tsukuba.ac.jp
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	オンライン(オンデマンド型)にて授業実施。授業の実施ツールはmanabaです。 「教育における生成AI活用のガイドライン(学生向け)」を参照し、適切に活用すること。生成AIによる提案や回答が必ずしも正確とは限らないため、得られた情報は批判的に評価し、責任をもって内容を精査すること。 授業の課題にあたり、生成AIを利用すると、場合によっては講義の内容から逸れたものとなる可能性がある。成績評価方法の欄に示したように、たとえ中身が良くても授業内容への論及がほとんどないものは零点か低い点数に留まるため、注意して利用すること。
他の授業科目との関連	0ATW137 デジタルヒューマニティーズ 0ATW13C デジタルヒューマニティーズ 0ATW157 情報組織化 0ATW15G 情報組織化
ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)	
キーワード	実物資料 情報組織化 キュレーション 保存科学 映像メディア 映像アーカイブ MLA連携